青年宗侶のエネルギーを結集しよう 社会的価値ある活動をしよう 青年宗侶の自覚を促そう 地域における活動の連携を深めよう

欲んで姿を消した。それを探し

みつけ、女性の行方をたずねた まわった一目がふとお釈迦様を みんなの持物からめぼしい物を

自分を探すことと、どちらが大 お釈迦様は、「女を探すことと

るとさとした。

ついとの間までは経済成長の一自分を充実したものにしょうと、一を結集してほしい。

内に求めることが焦層の急であ、心の中にボッカリと大きな穴が、返照して真実の自己に目覚める。に他を動かしてゆく。そのよう 事か?」と反問し、外に求めず、含差失い、生活は空虚となり、これを製機に、物から心へ同光。そうではなく、激のままに自由

あいてしまった。その穴を埋め、よう、布教教化に若いエネルギーな自己を確立してこそ、真実の

人生を生き抜くことができるの

クニックに来ていた若い十妻組 とを忘れて物や金銭を追っかけ 年会結成に当り、とのブームを「まわされている限り、他の宝で「教える世が今日世界的に求めら

お釈迦様がある日樹下石上に一般に乗り、物質的繁栄即幸せな一あせり出したのが今日の仏書ブ 一随処に主となれば立所みな真 である。

たる、名総普載にご就任いただくべき表清し、ご快話を賜った

のカップルの中の一人の女性がまわした。その結果、人間らし難なるブームに終らせないで、かぞえて自ら半戯の分なした。 鉛生しておられると、近くにピー生活と考え、おのれを求めるこ。一人の吹流であろう。曹洞宗言。なり。環境やプー人にひきずり

れている所以もまたどこにあり

断処に主となる此の生き方を

諸君の活躍を期待してやまた

今回時间、雷年会が結成され

随処に主を作る

名誉総裁 岩本

勝俊

く一点のべて投握にかえます。 なる心で日々を精進して或さた り、青年宗侶として随処に主と たことは洵に放ばしいことであ

れた役員は次の通り。

(大本山総持寺廣首)

◇副会長

耐周行 (群馬県双林市)

作傳奏條(新城市勝楽三

門腦充元(仙台市林香院)

青通信

昭和51年2月20日

所 曹洞宗青年会

東京都港区芝2-5-2 曹洞宗宗務庁內 電話 (03) 454-門脇允元 郵便番号105 編集発行人

る十数年前のころをおもい出し 成され、全国に神の集いが始ま の健祥を祝祷申し上げる。

納は、駒沢に仏教青年会が結

混迷をすくう浄行

名誉総裁 山田 電林

納も、越前より、はるかに強会

を祈っておる。

いなことではあるまい。

二業務部

回書林東方界

仏教・東洋思想の書籍約一万点を常備

模索はこれひとつから考えても容

(大本山永平寺廣首)

全国的に青年宗伯が和合団結し あがる如き感激である。

かけながら祈ってきた。今度、 た禅の集いのその後の発展を、 感慨無難である。 緑陰と命名し

くう浄行と納も心中、春の時の と聞き、まこと時代の混沌をす

を何とも法所であるとおもう昨心にで申しておる。 っている宗門に法級を得たこと

高祖太師は一正法眼蔵・道

今の柄であるが、との正法の弘 よのすえには、まことある道

門脳会長はじめ本部役員は、最初の仕事として、二月十日に大本山永平寺に同月九日大本山

寺総持等に、企曹青結成のご報告に拝登した。間貫賞號下拝問にあたり、曹青規約に定められ

脚かれたが、曹書結成の最初の障害を青年の熟意で乗り切ろうと決断した。前日の設立委員会事務局 が入るなど、予定の人数を大幅にうわまわる出席者で開催された。 にも問い合せが殺到した。決断を知らせ終ると、今度は「何県何名庫で上京する宜しく」などの報告 議場に曹青結成大会を開催。折り悪く公労協ストの影響が考えられ一時は没立委内部でも延期の声が 青年諸宗師の結集の円成と各位 仏祖の<u></u>奶鑑を迎ぎ、宗門順降と すべく青年会が組織運営される。尊い御生涯を通して純一に伝わ とは申すにおよばぬ。

長には、石附周行、藤井大湾両君 **旨・目的、会則、会費については** を満場一致で選出した。 員長を務めた門脇九元君を、副会 紙二面に掲載) 設立委員会案(本紙創刊号)をは 役員選出にあたっては、設立委

本会運営上、重要な位置をしめ

青年会設立推進経過報告、設立題一であり、暫定処置として理事を大一本会講師と各部門委員で構成し、 る理事会の設置を急格と考える設一ないことから、五十~五十一年を一推進委員会)、広報部門(広報委一をよせらてのもので **ほ生雨的に承認した。(規約は本 | を監査する監査も清水聡明、仙田 | 門 | 会員組織委員会と地方集会実 修**道場で開会式を挙行の後、三階 の選出を提案した。 理事は評議員 議技に佐藤泰煕君を選出の後、一初年度での評議員会組織が不可能 二十六日、午前九時半、五階研 | 立委員会より、本大会席上で理事 | 一期として提案された。 昭和五十一年の年頭に当り、 真実の仏法を著人の心の支えと 五十年度が余すところ四カ月しか 計画案の審議に入った。 |名の理事が選出された。本会活動 | 門の活動を調整推進する=組織部 | 三時総での案件審議をおえた。 会で選出することが可決され、十 一路だ同君を満場一致で選出した。 ひき続き、新役員のもとで、第 会の互選と規定してあるが、結成 予算案、事業計画案共に、昭和 一(昭和五十年度)を、また、事業計 セミナー、青年宗侶のための教養 行委員会)、事業部門(巡回教養 画については、総合企画委員会== 予算総額四百六十八万六千円

曹洞宗青年会設立委員会は、発起人総会の決議により、去る十一月二十六日、ソートピル三階大会 **着実な第一歩をしるす** 学生を対象とした一青少年の船 道・北陸を中心に、 をたどる巡回教養セミナーを六回

本会の運動の総合的な企画と名部一度開催の事後承認もなされ、午後 村真民先生を招き、「念ずれば花 講演は、仏教詩人として著名な坂 審議の合間におとなわれた記念

とい、サークル活動、参禅会、各一特に曹洞宗青年宗侶に対して好意

| 修徳門(縄のつとい、子供禅のつ| 先生は、仏教フォークの作詩なら| は本物ではなく、自己が生き、同 | 青年にとって、この共に生きると

員会)の五部門編成が提案され承 大衆教化をなしとげた先達の足跡 教化の接点を求めて』を設定し、 とし、年間メインテーマを"大衆 教団=から大衆教化教団への脱皮 関係でのみしか命脈を保ちえない 展本理念を、護持会的教団=守種 具体的な事業計画については、

一 されていた。ヤング 別日しの記号の推薦

社

界

見出しの記事が掲載

参会社ご案内 名 株式会社 東 方

店がで、後週

水曜日午後七時から 「なむ」が、喫茶 向けの宗教月刊誌

昭和50年11月20日変更 昭和50年11月20日変更

全曹青結成な

3

などを企画案を提案承認された。 の教養セミナー」についても年一 決められている一青年家侶のため 文化交流使節団」の派達、小・中 (近畿・東海・九州・東北・北海 さらに、結成大会翌日に実施が 一国際仏教

釈迦牟尼世尊の仏法が両祖の通が、仏祖への麋凰行であると 心者、おほかたなし……わが身

時に他とも共に生きるという共盛しいう一念が緩も大切である」 一の世界のあること知らればならな 「一心に念ずれば、必ず自己自身 」い。日本人にはこの心が欠如して

期待を語り合い、午後五時閉会し一る。曹絅禅の大衆教化への接点の の画期的な大会に参加した喜びと かな雰囲気でつつまれ、曹青結成 総べての衝滅を終えたあどのレ

おしまざるべし.....。

無上道を行じていたださたい。 法のためには、身も、いのちも わがいのちをかろくすべし…… どうか、まこと道心をもって と講演し、曹青の前途を激励され

本 昭和45年3月 本 昭和45年3月 本 昭和45年3月 樂 征 吾

結成大会審議風景 の盲人のための縁音を住から帰っ いうのが奉政な威想▼市立図書館 ヒーの行りと活動、でるー」と を企画したというのである。コー たそうだ。選ばれたわけを聞いて の雑誌をデーブ化することになっ 友会発行の洒落た雑誌のこと。 何かと聞いた。いわずとしれた湿 ぶ」という雑誌があるが、あれは て来た家内が、「いんなあとりつ 九時まで洗話とデイスカッション みると、百人から宗教関係の録音

ダーの行者達が構造で目についた 希望が多く、ボランティアの世

管理部

外商部 営業部

す。分割払いの御相談にも応じます。

後を果たします。

いの歌」が披露されるなど、和や一触覚の見事さであり、彼らの主告 セプションは、仏教フォーシ「集」彼らが大衆の飲水を肌に感じと云 ものに向けられているところであ するところが、常に大衆の心その るのではない。問題はそれ以前の 現業にセンスがないといおうとす ぐれているとか、芸門の出版物や 一思いしらされる。彼らの企画がす 一宗門の不足するものが何たるかを 一企画を考えるとき、今里のごとく のがこれだったという▼全暦青の

洋書部

回東方界航空 TOHOKAI AIR SERVICES

覚嘆と安らぎの世界-保育学習教材、寺院布教用品等の開発。

仏跡の旅を企画。

東京支社

回教育事業部

に背籍をみなさまにお届けします。最新鋭電算機を導入し、より早く、

より正確

回編集部

仏教・日本文化を伝える唯一の国際英文誌。

書林東方界

門脇允元君を選出

全曹青初代会長に

昨年五月に汲置された照片推進 | ◇理事 是未實施 (和解市大場主)

た。結成された、曹行は、規約に と拡大政権してきたが、関係結成 際見を反映すべき所言設立委員会 総会の席上で選出された。適出さ の互選によるが、初年度にかざり た。なお理事については、評議員 したがい次の役員を総会で選出 委員会は、全国責任崇信の教送い 同時に解散しその任務を完成し ◇監査 工機技法(利上處子生) 自然昭文 (太田市主婦子) 製菓店房(山井山上を丁) 大山義朝 (福知山市壽光寺) 學用前例 (静岡市場差字) 西村城城(平戸市場等主) 北小路瑞浩(愛城県東願古 井川悦道(東京都観音座内) 湾川敬学(島取市天徳寺)

清水昭的(長野県松蘇丁)

仙田隆珍 (下都将市長林亨)

回編集部 門舎を毎月御祭内します。 月刊「東方界」の発行。

株式会社 東方界 京楽ピル

5

図書の輸出入を行います。

第四条本会は、個人登録とし、 の育成をはかり、もって健全な社

ただし特別会員は、本会が推薦す |第七条 正会員は、年令十八歳か

第五条 本会は、その目的を遂行

に参加することができる。 第八条 会員は、本会の刊行物の 2、会費に関する細則は、別に 質助会員及び特別会員とする。

は

別にこれを定める。

第十二条 評議員は、正会員中よ 事の互選により常任理事を置くと 構成し、会務を処理する。また理 により選任する。理事は理事会を

る。

り選任する。選任についての細則 2、 評議員は、 評議員会を構成

第五章会議

第九条 本会に次の役員を置く。

第十三条監査は、総会において

時、もしくは正会員の半数以上の 集する。ただし緊急の必要がある は会長が招集する。 評議員会及び理事会とする。 第十九条 本会の会議は、総会・

要求がある時は、これを招集しな

第二十条 総会は、年一回以上招

処理するため、宗務庁内に本部事

第二十五条 本会の一切の事務を

第七章本部事務局

会談

三十一日をもって終る。

毎年四月一日に始まり、翌年三月 第二十四条 本会の会計年度は、

し、理事の選任並びに重要な会務

第三章役員

二、副会長二名

四、評議員 岩子名 三、理事

監査

第十五条 本会は、名賛会長に宗

第二十一条 総会には次の事項を

事務局長は、会員中より会

二、理事会推薦のもの若干名

田孝英 七并公史 伊藤宗範 蒔一〈山梨〉坂野英男 佐藤奈道 須

△山口>有馬実成 本義博 鈴木章純 △阿山>芳賀弘裕 瀬元道 原彰道 田中千春 斉藤

横山正賢 Ш

芳村良元

一种川正純 平井一三 一种羽安基 近藤良一

平井二三 将谷良惠

荒沢義範 荒木哲英 押見香精

50 11

2、総会の護事は、出席者の多

二、常任幹事 三、幹事 若干名

する。登録に関する細則は、 目的に費同するものをもって組織

想

一これを定める。

会の形成に寄与することを目的と一ら四十歳までの者とし、その他は

第二条 本会は、本部事務局を曹

六、その他必要と認められる事

第六条会員を分けて次の三種と

務を統理する。 おいて正会員中より選任する。

2、会長は、本会を代表し、会

第四章委員 及び委員会

重要六事項

第二章会員 粱

> 第十条会長・副会長は、総会に 残任期間とする。

事会において推薦し、会長が委嘱 ・ して護師を聞くことができる。 講

二、贊助会員

三、特別会員

第十一条 理事は、評議員の互選 の中から会長が委嘱する。

2、委員は、会長及び理事会の

第二十三条本会の経費は、会員

第六章会計

3、副会長は、会長を補佐し、 | 第十八条 本会は、本会の事業計3、副会長は、会長を補佐し、 | 第十八条 本会は、本会の事業計5。

会員五百人を越える 新たなる人材の確保進む

青年宗侶の幅広い人材の登用の基本とされる。全曹青の画期的六事業を推進にはまだまだ乏くの人材 一っており入会登録された会員は全一た会員相互の研修と講習会を推進 現在登録された五百余名は、本部事務局の登録台帳に記載され、各種活動の委員などの資料となり、 結成大会と同時に入会登録を受けつけた本部事務局には、入会登録や、問い合せが殺到している。

| である。 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 | 1997 月の結成大会以来、設立態旨、 | た。 | 人で申込むと、本部事務局の会員を曹青本部事務局には、昨年十 | "人会のすすめ』を八千部作成し | きる)。 入会申 込 書に会 教を添

月の結成大会以来、設立趣旨、

一選考する方式をとり、近畿・東海 では実行委員を依頼する方式をと ◇研修部門 この部門は、各教化活動を通し

つある。発展途上の全曹青の第一 │◇広報部門 もて、主体的な会として成長しつ

行動力と統率力のある人むき。

部門。研究肌の人むき。 し、併せて教化活動の研究をする

か苦慮している。

心に組織の拡大がはかれないもの

を求めて』のもとに文化事業、数一ためである。前轍をふまぬよう、 のメインテーマ。大衆教化の接点|有能な人をチェックできなかった という質問ぜめにあ

会員登録者

覧

△愛媛〉北小路瑞浩 高島武彦

村上機明

度辺昭剛

人や、すでに登録された会員を中

出のほか、会員登録者からの紹介 さらに本紙に記載された、発起

への積極的参加を希望している。

· 并浩憲 矢部署山 柴田尚明 青 路山 地光典 南原義明 糸柳格順 高。

への積燥形が加を希望している。 田正孝 山路純正 竹俣春朗 神三月、四月に開催される地方集会 崎厳彦 長屋竜心 田中孝治 梅語 東嶽地方の青年宗侶は、 木孝典 河戸孝信 中野睦宗 山 俗禅 丹羽達宗 和光 福田恵文 真彦 西山竜光 山口徹厳 佐々

|年度 | もとに名簿を作成したためそれら った。宗務庁のかざられた資料を

細矢裕宣 内藤 土田県裕 佐藤一也 福田 福島垣

村雄南 野田義宣 原田克己 安

田光彰 石川輝年 鶴見美澄 菊

光義史

<静岡>大井正順

<佐賀>宗像良孝

宮島俊基

本哲成 田中雄司 駒形正美

工田山駒横

中義道 佐藤孝一

山真澄 礎辺浩嘉 田中良盛 〈富山〉新田妙信

<新潟>高嶺清隆

杉野博道

小西英昭 都高真道 栃堀真英

提出を含めて過半数の出席をもっ は、必要に応じて招集し、委任状一ができる。 |第二十七条 本会は、この運動を 付則

政文 岩山光憲

十六日をもって施行する。 細則

れを決する。

日 石神瑞 皆川英真 日 石神瑞 皆川英真 へ奈良V広嶋孝法 河村松雄 大 東雅宏 大井美樹 津田達司

研究成 案を答申 し、また実行す る。 いん他をもってこれに充て専門委員会を構成し、付託事項の 品、 その他をもってこれに充て

第二号 会費に関する細則 費助会員 年額(一口) 正会員 年額 1、000円

一、各宗務所単位に各一名

| て成立し、議事は多数決によりで | この会則は、昭和五十年十一月二 四、その他、会の運営に関する 第八章支部 長爾亮孔 大嫩正泰 **本文雄 小田原光仁 立川裕倫** <埼玉>高木泰文 吉州隆道 松

高倉俊明 関口正典 金剛秀房

その他をもってこれに充てし、その年度の会費を添えて本部し、その年度の会費を添えて本部 事務局に提出する。 たら、会員盃を交付し、会員名簿 に登録する。 二、本部事務局は、申込を受理し

則 第三号 評議員の選出に関する細

新的道 **星秀鼓 新井正道 松 新的道 **星秀鼓 新井正道 松 中山緑陰 泰下泉州 石井知章 中山緑陰 泰下泉州 石井知章 和田隆文 大森忠篤 鈴木永城

浦風風 辺文之 佐々木蔵格 南敬爾 大人茨城>伊藤正孝 笠島道宗 渡 田隆彦 渡辺清孝

屋孝昭 中尾良信 井上隆章 間一日正明 金沢宗明 川村孝憲 土

沢政信 清水忠道 佐々木征満村泰淳 鈴木泰良 鈴木泰則

〈秋田〉戸部英二 奥山芳寿

木道斑

木祥哉 山田栄一 池義幸 新谷俊义 殿城玄櫃 松 〈千葉〉畠山幸雄 塩谷嘉朗 小

覚峯

△青森〉浅山賢操 三浦義弘

<北海道>木村清昭

井上正洋

田良雄 雲山文丈 大石英昭 谷 へ岐阜ン宮本洪純 氷田義光 竜 <京都>大山義朗 荻野孝昌 樋 口悟由 中小路弘基 高木宣英 弘純 渡辺良光 池田明雄 清水 △滋賀〉早瀬明順 村瀬信行 松 日田豊穂 門脳九元 錦織文悦 野野宗 小枝一誠 留守孝道 一 多素雄 天野宏雄 名德淳 松山宏佑 田緊門

藤直俊 渡辺徹朗 梅津成夫地丹順 深瀬謙三 青野智道 崎忠興 佐藤啓文 〈山形〉蓋原正應 鈴木昭雄 々木端瑛 裕光 三宅俊禅 恵津森文夫 屋行雄 稲田泰仙 柏収山 <岩手>清水孝雄 阿部光文 小石川正幸 三宅俊昭 一种作繁道 一种作繁道 一种作繁适 天 菊 高 岡伊菊

写ビーエス 観

海外・国内を問わず 研修旅行に レジャーに 御利用下さい。

(03) 454-1027(代)

・韓国曹溪宗との国際交流……

△福井>石塚博英 松井俊彦

◆ 韓国仏教文化交流使節団

問 麂

◆ 玄奘三蔵ツアー (シルクロードの旅)51年8月24日~9月8日

…古代イングス文明。

カングーラ美術を訪ねて…… パキスグン――インド アフガニス**グン** 会 費 ¥490,000 中込金 ¥ 90,000

お問合せは最寄のビーエス観光営業所に

(8)

参加者の募集など具体的な動きをみせている。

近

三月十二日

三月

地方集会開催せまる

方とはかざりません。

◇参加希望者は、特に近畿地方の

参、暖かい服装が必要。

曹青の大いなる飛躍を目指し

ります。早めに申込むこと。

ル級、カイロも特参のこと。ア お水取り見学の終了時は、深夜 二班六十名、定員になり次第と切

お水取り見学者は三十名ずつ、 服装、洋服可、ただし終子は持

縮



大和青少年文化研修道場

東海地方集会開催について、近 | 〇第二回巡回教養セミナー併催

一円空一遊行聖と庶民信仰」

小原伯浮(愛知第二)

◇日程◇

鶴巢清泽寺——千光寺

青年会(地域汚青)などは早く と考えられているが、三重曹洞宗 全曹青の会員となるべき数も多い 宗門寺院数の多い地域でもあり、

セミナーの内容は、メインテー 高山—国分寺——维土館 の他の日程については、決定され 子想がつかず、斃行しているがそ 会場決定については、参加者数の され、具体的な立案作業に入った 名古屋の大連等を会場として開催

◇巡回教養セミナーコース 十六時 解散

円空仏を尋ねて飛驒

東海地

X

四月十六日

第二回打合せ会は二月十三日、

レセプション

9

せ会を予定しているが、それまで

には、会場も決定することになっ

八時半 巡回教養セミナー出発 四月十七日

現地講節 谷口順三先生

東海地方は、愛知・静岡など、

せ会を開催した。 集会実行委員会の設置をいそいで 地元会員の協力をえて、東海地方 れている。理事会の審議の結果、 畿地方集会と同様の作業が進めら

◇副委員長 ◇委員長

有馬実成(事業部門委員 宮本洪純 (岐阜) 山内光昭(愛知第一)

長谷川文大(岐阜) 青山弘道(三重) 岡田祥一(岐阜) 中井縢岳(岐阜)

→二時半 中食 十三時 分科会 十三時 湯河

代に生かすべきものを見いだそう 僧を支えていた背景をさぐり、現 ねながら、庶民信仰と廻国放浪の

東海地方集会実行委員会事務局

名古屋市瑞和区十六町

清原俊弘(組織部門委員

あと、具体的な開催日時、場所の 本部事務局の趣旨の説明を聞いた 〒名の出席を得て行なわれたが、 打合せ会は、地元青年宗侶、三

不同

当日確認された事項は次の通り 熱心な討議がなされた。

青山衛雲(静岡第一)

佐藤松亮(愛知第二) 大洲久典(愛知第一) 永田義光(岐阜) |村宏学(三重)

仰」 杉山二郎先生

会と同様、東海地方以外の方の参

|電話〇五二一八五1-1五五C

本部事務局 東海地方集会係

二一四大連寺内

参加者については、近畿地方集

加をもみこんでいる。

山田義徹(静岡第二

いたが、一月十三日、第一回打合

実行委員会メンバーは 講師 杉山二郎先生

◇事務局員

丹羽賢孝(愛知第一) 佐野令棒(愛知第三)

十一時 開会式

○設立趣旨説明と経過報 智

放浪の彫刻僧円空の微笑仏をたず

東海地方集会、

巡回教養セミナ

信仰」となっているが、江戸期の もとにした「円空一遊行型と庶民 マ"大衆教化の接点を求めて"を

| 画並ひに準備に参加している。 集会へ向けて、全精力をあげて企 き、内部手続きを完了しての地方 も、全西青三種県支部となるべ

谷口順三先生

1マ 大衆教化の接点を求めて。 実行委員の打合せ会は、本部役員 参加するとともに理解を深める様 を併催し、全曹耆の実際の活動に にしたかい、近畿地方、特に奈良に 動向や主体性を重ずる形で進めら ともども協議し、地元青年宗侶の に企画されている。 巡回教養セミナーは、メインテ 先人の足跡をたどる計画である。

一張担会ではみている。 さらに魅力ある催しとするため

昨年十二月と一月に開催された一の対象とした一大信仰運動を展開 なる運動の源泉をさぐることは、 をたどった鎌倉期の南都諸大寺。 光と示唆を与えるはずだと、実行 われわれ全曹青の末来に明るい曙 して、寺院を宗教的文化福祉セン その中にあって、大衆庶氏を教化 経済的基盤を失い、没落の一途 と変客させたとの二人の偉大

東大寺の特別なる配慮のもと、 文化研修道場)

る。地方集会は、全曹青の設立趣一舎利信仰の中でせん民救済事業を一取り」の行法を内陣で特別拝観、 を近畿地方とし準備がすすんでい|信仰の中でなしとげた重源上人。 定されている地方集会は、第一回|復興造営の大事業を庶民への念仏 全国六区地にわたって開催が予」視点をしばり、鎌倉時代、東大寺 都 の庶民信 仰も探訪

南

|の努力がはらわれ、お水取りの特 声明。ユーモラスな「走り」の行所 をかぶり、燃えさかる大松明をひ一参加費 三〇〇〇円(地方集会) たりに見、聞くことができる。 そのものといえる行事を、まのあ ンネルをくぐり抜けて、天平時代 ッタン」の行法などは、タイムト っさけて、堂内をかけめぐる「ダ 法と五体投地。奇妙な衣服と帽子 別見学をも企画している。 千二百年の歴史を伝える「お水 講師 決定事項は次の通り。 開いた近畿地方集会実行委員会の

セミナー参加費 三〇〇〇円(テ お水取り参加費 五〇〇〇円 奈良市 二松寺 **皆川英真老師(大和青少年** 杉山二郎先生(東京国立博 キスト代含) 作川英真住職

○委員 村瀬信行 水野義典 (大阪) 大山義朗(京都) (兵庫) (滋賀)

斎藤覚峰

方集会実行委員長)山内光昭君(東海地方集会実行委員長)のもと最後の打合せ会も真近にひかえ 実行委員会と事務局が設置され、具体的な運営面についての検討も進んでいる。藤井大吾君(近畿地 四月の両月にわたり、全曹青初の大事業としてあげられる近畿・東海地方集会、及び巡回教 ーの開催が決定し、その準備が着々と進んでいる。開催に先きだち一月中旬に、両地方集会 |十二日・十三日の二班、定員六十 名で実施される。 奈良市三松寺は、「大和青少年文 化研修道場」 (財団法人) が併置 され、新しい教化活動を展開して 【鉄筋三階建の道場は、総建坪、 いる寺院である。 なお、会場に決定されている。

れている。 などの細部にわたる注意も示めさ など用意するのが賢明です。 ノラック、ズボン下、厚目の靴下 二時をすぎます。懐中電灯、ビニ

詳細については、事務局あるい

○事務局長

八木道雄(大阪)

録音、撮影は自由。

な活動を展開している。 は百名を収容する大規模なもの、 一四〇坪の近代建築で、参禅道場 条、剣道、合気道、空手などの

企画し、青少年育成のために盛ん | 東大寺お水取りの行法見学。 ※会 修練や、寺院史跡めぐりの催しを | フレット "南都の庶三信仰探訪と 一月十二日の第二回打合せ会を ばよい。 員に直送している。 は、地元の実行委員に問い合せれ

務局が便利。 ーは次の通り。

近畿地方集会実行委員会スンパ

摩非大苔 (大口

◇副委員長

有馬尖成(專業部門委員) 清原俊弘(紅紅部門委員)

程 表

地方来会 報告―計議―中食一分科会 講演 杉山二郎先生 南都の庶民信仰 一重顔と常尊一 薬 石

大衆教化は如何にして可能か

日 振鈴一朝会 貸切パスで出発 三松寺一西大寺一元興寺一東 大寺俊乗堂一二月堂一般若寺

ま水取り日後四1平5日第

薬 石 講演 皆川英二老師 新しい教化への試み 座談会

H

就 铤

一不退寺 杉山先生の現地解試 17:30 近鉄奈良駅解散

17:30 お水取見学第2班出発

3月12日 10:00 10:30 受 信 開会式

11:00 地方集会

15:00

17:00 18:30

3月13日

遠隔地からの問い合せは本部事

また、本部事務局からは、パン

◇事務局所在地 〒五三○ 大阪市北区西寺町二 一八 円通院内 電話〇六一三二一七〇三三

の近畿地方集会開催と同時に、地 が、着々と進められている上、こ 曹青会員の自主的た会員確保活動 方支部結成の動きも出ている。 委員以外の設立発起人や、

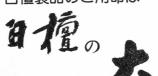
■ごあんない図 九条 九条駅下車徒歩七分

手が必要。

交流を要請した。実施は、 ろう。曹渓宗・東国大学等に正式 れている折時流にのったものとな 年展が国立博物館で開催が予定さ をも含め、韓国と決定した。 ていたが、本部事務局会等の見解 九十一年度の交流国の選定を進め
 二月二十四日から韓国美術五五 国際仏教文化交流委員会では 台

実行委員会事務局 近畿地方集会、巡回教養セミナ 近畿地方集会保 曹洞宗青年会本部事務局内 東京都港区芝二一五一二 問い合せ先 郵便での問い合せは、返信切

白檀製品のご用命は



株式会社



販売品目

笏 7,000円より 短策 如意 37,000円より 位牌 香盒 香筒 戒尺 2,000円より 扇子

・十二日~二十七日なる見込み。

6,500円より 16,000円より 3,000円より 2,500円

線香(大乗香) 500円より 念珠 各種 他に沈香等豊富 仏像製作致します

〒250 神奈川県小田原市板橋 178 ☎ 0465-24-2430 代

交流国を韓国と決定

この仏教公伝の年には

しそうであれば、日本への仏教伝

ていたが、彼等は中国から朝鮮に

ってこないようである。

の接近と考えられなくもない。もら複楽した人々によりもたらされことからも判るように、朝鮮のフラやら日本仏教の原点は開催にな

るのであるが、この時の「みすが から扶余に悪した年であり、日本 く。しかし、ことで見落してなら

明日への視角

飲明天皇十三年(五五二)、百済年(五三八)とする説の方が有力

かという問題も興味尽きぬテーマ

も深く、弥勒菩薩と太楽の広隆寺

とが必要である。 るのではあるまいかと反省すると

『日本書紀』の記載によれば、 異説があり、飲明天皇七年成午の

成 (2)

私

朝鮮 馬 実

次々ともたらされた仏教文化も、

らし」と述べて、列席の群陸に礼 なりの国の献れる仏の相貌きらき のが「仏教伝来」の初めとされて 金銅像及び幡や遊がもたらされた の整明王の使者により、釈迦仏の

真に三国伝灯とは

いるが、との時、天皇は「西のと

持すべき否かを思うたという。

事 業推進に 各種委員会も軌道に乗る IV 回

鑑認 2、近畿地方集会及び巡回一の確認(別掲)- 3、近畿地方集会及び巡回一の確認(別掲)
- 3、近畿地方集会反び巡回一の確認(別掲)
- 4の広報巡門 山路純正(京常) ○研修部門 白金昭文 (新木) ◇事業部門 有馬実成 (山口) ◇組織部門 清原役弘 (三重) める。 8、曹貴通信を至急刊行し、入会 等を中心に委員会の設置を急ぐ。 研修会の実施 御のつどい開催地拡大

会は、曹青の活動の本筋たる1、一のもとに次の如く審議された。

五日第一回理事会が大阪市北区の

えた。

白金理事ほか七名の理事の出席

门通院を会場に開催された。理事

称を全西青と呼称する。 9、呼称について

「円を原則とする。

◇背少年の船実行委員会 のための実行委員会を設置する。 ◇国際仏教文化交流方行委員会

高崎直

地域曹吉との区別をするため略一た者、その他とし、会費一口吉万 宗蔵、宗務所具、本会に貢献し 禅のつどい運動の再始計 10、支速について

道の各先生を予定。 佐々木宏幹 水尾比呂志 11、本会講師の委嘱について 作順して要請する。
 奈良康明 金崎秀友 杉山三

める。 | 13、本会特別会員について 要項、その他事業の呼びかけを進一宗立大学長に委嘱。 12、本会顧問について 両大本山艦院 参議 内局員

とのことを審議決議した。

の準備会を地域の実得と主体性を 地方集会参加者により支部設立

昭和50年度予算

歳入

会數収入 事業収入 広告収入 宗務门勘放金 雅収入 口は宗務庁の協力を得て一 äħ

本市機 組織部門費

事業部門費 研修部門費 広報部門費 予 備 費

946,000 940,000 1, 340, 000 140,000 1, 120, 000 200,000 4, 686, 000

800, 000 960, 000

640,000

286,000

2,000.000

事業予定

ミナー

4, 686, 000 31 -0-

3 F112 • 13F1 3 月12・13日 近畿地方集会・第1回巡回教養セ ミナー 4月16・17日 東海地方集会·第2回巡问教養セ 5月 51年度総会・青年学問のための数 変セミナー

店

結成大会より約半月後の十二月十 | 3、青年会綱領作成のために招集 | 員)の承認・委嘱 |教養セミナーの開催に関する件、| 2、各部門チーフ(総合企画委

ることを決した。(開催製項等は 條君を中心に実行委員会を構成す をはじめ地元の水野発典・斎藤鈍 否本会副会長を選任し、大川理事 を設立する。当日委員長に藤井太 るため、近畿地方集会実行委員会 月十二了十三日、奈良市三松寺 (街川英真住職)を会場に開催す 近畿地方集会を昭和五十一年三 は、二月十四日初会合を開き、異 一研修部門委員会(白金昭文委員長)

基礎教学セミナ

١

(5)「五十一年度禅のつどい年鑑」 | 微本宏昌、物川広義、青山俊鉱

1月23日~24日 両大本山へ結成報告の件

本部事務局会

災連日の会議いささかつかれま

△委員〉佐々木宏幹、三宅復昭、 弾のつどい運動研究委員会

行之

東京・名古屋で四月開設

に、二委員会を発足させた。

事務局日誌

同日、これら事業の実行のため
<委員>松浦禹鳳、松倉絃洋、井

神のつどい推進委員会

1川悦道、中野電孝

4、東海地方集会について 別地

体的な計画を検討した。

青年宗侶の研修に関する事業と

第一同理事会の決定にもとずる

(3) 期末元

員会を設立し、具体案や検討す 一月初旬、東海地方集会実行委 して「青年侶宗のための基礎教学

6、昭和五十一年度事業計画推進 する。 南都の庶民信仰ー重源と教神ー ミナーは東海地方集会に同時開催 強セミナーを実施する。テーマ、 (詳細別掲)。第二回巡问教養セ 近畿地方集会と同時に巡回教 セミナー」を開講することを決め ①仏教の人間学 溝節 太田久紀先生(駒女短

> 場としているほか、四月開講、月 も基本的なもので、基礎力をつけ

(4)神のつどいに関するサービスと

(ロ)「つどいのしおり」(子) (イ)統一ポスターの作成

参加 七十名

※地元青年宗侶の協力を確約し 巡回教養セミナーのデーマ検討 実行委員会と事務局設置 大殿 門通院

ていただきホッとしました

※ストのため帰郷できぬ人も沢

山でまた

(ハ) 溝節の紹介 さも禅のつどい)の作成 一回の年十回連続講座となる核様

(1、(2)は東京会場、(3)は名古屋会 | 十一月)

るには、

もってこいである。

つどい研究集会を行う。 (3)曹青連加盟団体を中心に、禅の 「神のつどい開催の手引」を編集 ②排のつどいを普及させるために どい運動における伝道の理念の研 (1)以門委員会を組織して、何のつ

舜

要ぎみでした

※初代理事の面々、いくらか略 理事 質合せ会 昭和50年

11月27日AM9時~

近畿地方樂会第一回打合せ会

第一回青年完品のための

教養セミナー

選定されたデキストは、いずれ | する。 テキスト 智録(未定) 講師 内山興正先生 (安奈寺 テキスト 火平広縁

11月26日PM4時

第一回理事会 於大阪円通院

曹宗宗、東国大学へ交流依頼の 入会のすすめ作成 曹渓宗関係者、BSとの接渉 韓国仏教文化交流の作 特別会員・講師・顧問の正式依

※資料不足でというより事務局

員不足で大変でした

2月2日 正式文書の発信 前住) | 交排中

兜を行う。

(2)題未定 大学監

テキスト 戊唯識論 講師 武井哲応先生 (足利工 大教授)

さらに青少年教化活動推進に関

動を中心にして次の活動を行うと する事業としては、絆のつどい運

ともあわせて決している。

私たちは三国伝灯という。もち曹操宗の寺院に詣で、禅堂で奏禅

※あまり多すぎてかえってびっ 五四〇通 登録会員の宛名カード作成

1:

研修河門大山人

K

M

のが優先した。風われる。その時、ちだった。つまり、古代日本の仏・神宮の名称は新羅に始まると、朝・傾斜、不幸/承史により後建国と、させられたのであった。日本人の即物的な魅力をどそるも、多くはその要求人分学を ごまかに 日本神道にも及んでおり、例えば、ると、先回に述べた集集文化への、れているのではあるまいかと反省 本人がどう対応し、どう消化したて来たのではなく、朝鮮というフ どんなものが伝えられ、それに日 教は、いきなり中国の仏教が入っ 不可分ということになり、その後仏教を日本にもちこんでいたし、 来も、その最初から政治的状況と
招来され、朝鮮の風土に定着した そして飛鳥の仏教で活躍する僧の ィルターを通過し、更に朝鮮渡来 秦河勝といえば遊徳太子との因縁 らず関東・北陸にも多い。更に、 鮮の祭神を花る神社は畿内のみななった別鮮半島の無視になってい 朝鮮文化の影響は仏教だけでなく であるが、三国伝灯がうっかりす の正伝の仏法は彼等にこそ伝えら 跡を消すことはない。 なおついでにつけ加えるならば、ろんこれは前段の思想からの表現、する機会に恵まれたが、三国伝灯なおついでにつけ加えるならば、ろんこれは前段の思想からの表現、する機会に恵まれたが、三国伝灯

そして、この一件は崇仏派の蘇である。そして、この年は、百済であるが、なにはともあれ、こうの人々によって受客されていったのフィルターとは何だったのか。 排仏派の物部の争いに展開す。が高句麗の圧力により、都を公州。した中から飛鳥仏教は花開いてい。のである。もちろん、やがて中国 本士との直接ルートを持つように 朝鮮の民俗信仰なり、宗教意識が の宗教全体に大きな影響を与える が、日本の仏教にかけられた朝鮮 関わりを持っているのである。 を思い出すが、その豪氏に同時に 伏見の稲荷社や松尾大社とも深い とのように切解の文化は、日本

を見た日本人の驚きを飾的に表現。の日本への政治的援助要請のため、事実である。これらば朝鮮三国か、空海が朝鮮渡来系の子孫であった。これらのことを考えなくては、 な政治的緊張を消量にした。百済 前に仏教が私的に移入されていた。てはいくが、平安仏教に活躍する それはBのようなものであったか への使者派遣も、朝鮮半島の複雑。ぬのは、想明王からの仏教公伝以。なり中国仏教の影響が大きくなっ 当然、日本人の宗教意識や仏教祭

私はかって三度韓国を訪れ、

実行委員会と事務局の設置 名古屋 永平寺別院 巡问教養セミーナのテーマ検が 東海地方集会第一回打合せ会 元の協力、感謝の一言。

開催要取作成 大阪 円通院

近畿集会の開催要項系送

うたれました ました。実行委員長の熱意に

※すばらしい会は証です。 会員証・依頼状作成 ※これが唯一の財産です 会員登録台帳作成

※東海もやっと目鼻がついてき 運送、配役、蘇集方法の検討 開催要項作成 名古屋 大連立

待下さい

近畿地方集会第二回打合社会 運営、配役、募集方法の検討 ※やっと目鼻がつきました。

弁。あとは協会を祈るのみ。 やはり大宗門だナーとは局員の 全国地域代表六千余 第送総數八千余道 (会員五白八 東海地方集会第三回打合せ会 ※発送にまる一日かかりました 十余、近畿督內全正院士二百全

大本山北平寺排送 大本山織持寺輝法 近畿地方集会の開催要項作成 東海地万集公第二同打合社会 ※青年尼僧の納意におどろきま 曹旨の基本方針等の説明公 然とうとうできあかりました。 仏母会総会で全

尼俯団理事会、

曹洞宗青年会結成 洞友会

京都市仏光寺通空町西入

法表仏具の御用命は曹洞宗専門の洞友会へどうぞ

濃 角 法 衣 仏 具 電話 075 (351) 3 4 0 6番 擬替京都 14898番 郵便番号 600

祝

曹洞宗専門店 京都市高辻通麩屋町東入

口 法 衣 仏 具電話 075 (351) 9 7 4 1番 (361) 7 6 2 2番 接身席 15 4 3 7番 郵便番号 6 0 0

照和印為任理師也附入 細 野 福 蔵 法 衣 仏 具 電話 075 (221)14 5 5 番 1977番 振替京都 4 4 6 3 番 郵便番号 6 0 4

京都市高倉通御池南入

8